さぁ、答え合わせをしよう！

第62週目　行ってみよう～岐阜県（ぎふけん）からの出題

※ココを見てね！ 行ってみよう～岐阜県（ぎふけん）

1. 岐阜県の特徴（とくちょう）の中で、県には「〇〇がない」と書かれています。さて、次のうち、何がないのかな？

正解：③海

県の特徴（とくちょう）を読めば、すぐにわかる問題でしたね。正解は、③海。岐阜県（ぎふけん）のほか、海のない内陸県（ないりくけん）は、栃木（とちぎ）、群馬（ぐんま）、埼玉（さいたま）、山梨（やまなし）、長野（ながの）、滋賀（しが）、奈良（なら）の8県です。ちなみに、日本列島において、山がない・川がない都道府県はありません。

2. 古墳時代（こふんじだい）に、前方後方墳を中心にたくさんの古墳がつくられました。さて、その数は？

正解：② 5,140

さて、岐阜県（ぎふけん）にまつわる数字を紹介（しょうかい）しましょう。WEBサイトにはまだ登場(とうじょう)していない安土桃山時代（あづちももやまじだい）には、“天下（てんか）分け目の戦（たたか）い”といわれる「関ケ原の戦い（せきがはらのたたかい）」がありました。1600年、全国の武将（ぶしょう）を巻き込んだ超有名（ちょうゆうめい）な戦（いくさ）の主戦場（しゅせんじょう）となったのが岐阜県（ぎふけん）、現在の不破郡関ケ原町（ぎふけんふわぐんせきがはらちょう）だったんだよ。また、約198万人という数字は、令和2年度の岐阜県（ぎふけん）の人口です。ただし、令和4年6月1日の調査（ちょうさ）による推計人口（すいけいじんこう）は 1,947,595人と、年々減少（げんしょう）しています。このクイズの正解は、②5,140基（き）でした。

3. 鳥の飾（かざ）りがついた、珍（めずら）しいデザインの須恵器がみつかったのは、何という遺跡ですか？

正解：①宮の脇 11号墳（みやのわき11ごうふん）

「須恵器（すえき）」は、古墳時代中期（こふんじだい）の中ごろから平安時代（へいあんじだい）にかけて、渡来人（とらいじん）によって伝えられた青灰色（あおはいいろ）の焼物（やきもの）のことです。古墳時代には祭りや副葬品（ふくそうひん）としてもちいられましたが、奈良時代（ならじだい）には日常（にちじょう）の器（うつわ）として使用されていました。岐阜県（ぎふけん）には、美濃須衛窯（みのすえよう／いまの岐阜県各務原市付近）などもあり、当時から焼き物の産地（さんち）として知られた場所があります。正解は、「お宝ベスト5」5つ目、①宮の脇 11号墳（みやのわき11ごうふん）でした。

4. 下呂温泉で有名なエリアでは、「下呂石」とよばれるモノがたくさんみつかっています。それは、何？

正解：①石器（せっき）

「お宝ベスト5」1つ目に紹介（しょうかい）されている、大林遺跡（おおばやしいせき）から出土（しゅつど）した「下呂石（げろいし）」は、①石器（せっき）です。火山（かざん）の溶岩（ようがん）が冷（ひ）えて固（かた）まった石は、硬（かた）くて丈夫（じょうぶ）なため、ヤリ先に使われました。飛騨地方（ひだちほう）では未完成品（みかんせいひん）がたくさん見つかっていることから、ここが石器（せっき）づくりの場所だったことがわかりますね。

5. 船木山古墳群では 約300基の古墳がみつかりました。このような密集（みっしゅう）したつくりを何という？

正解：①大型古墳（おおがたこふん）②集団墓地（しゅうだんぼち）③群集墳（ぐんしゅうふん）

古墳時代後期（こふんじだいこうき）の岐阜県では、決まった範囲（はんい）に密集（みっしゅう）して古墳（こふん）がつくられました。正解は、③群集墳（ぐんしゅうふん）。県の特徴を最後まで読めば、カンタンだったね。